

UV硬化型ヘッドライトコーティングシステム

Genuine

<ジェニュイン>



Hyper Convergence



HYC Co.,Ltd.

<http://hyc.mitaka.tokyo.jp/>

Genuine <ジェニユイン>

UV硬化型ヘッドライトコーティングシステム

一度磨いたヘッドライトは直ぐに黄ばんでしまいます!!

ヘッドライトの黄ばみと白濁現象による光源不足は夜間走行に支障をきたしたり、車検が通らないこともあります。また、最悪の場合はヘッドライトカバーにクラックが入ることがあります。従来販売されているアフター用のヘッドライトコーティング剤は、紫外線による黄ばみやひび割れを最大でも1年程度しか防ぐことができませんでした。理由として挙げられるのは、紫外線吸収剤の構造や構成が最適化されていないため、紫外線を抑制する材料自体が1年程度で剥がれ落ちてしまい、ヘッドライトカバーのポリカーボネートに紫外線が到達してしまうため寿命が短いのです。



最大5年保証が付いた ヘッドライトコーティング材 HYC3000

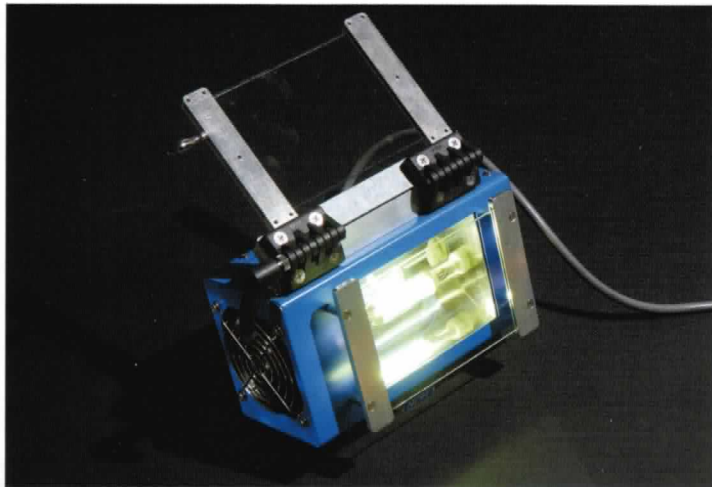


HYC3000は、ポリカーボネートで作られているヘッドライトカバーの耐摩耗性、耐薬品性、耐紫外線性を向上させることで5年間の保証が可能となりました。長寿命を実現した理由としては、紫外線吸収材を支える樹脂構造が他の製品とは異なり、シリコン・アクリル・ナノシリカによる3次元ハイブリッド樹脂でバインダーを構成しているためです。長寿命に加えて、HYC3000でコーティングされたヘッドライトは、前照灯用途に対するECE自動車規制の条件を満たすとともに、自動車用光学レンズおよび反射体の基準を満たすプラスチックのAMECAにも準拠しています。



HYC3000 / 50g×20本(1ケース)

ヘッドライトのコーティング作業は専用の装置を使用し 短時間でHYC3000を硬化させます



紫外線 硬化装置 (UV照射機)

HYC3000をガンスプレーで塗布した後は、パネルヒーターを使用しヘッドライトの温度を70~95℃にしコーティング材の蒸着と溶剤を揮発させます。次の工程として使用するのが専用の紫外線硬化装置 (UV照射機) になります。UVをHYC3000に当てることにより短時間で完全に硬化し、5年間もの長期に渡ってヘッドライトコーティングの効果を持続させることができます。



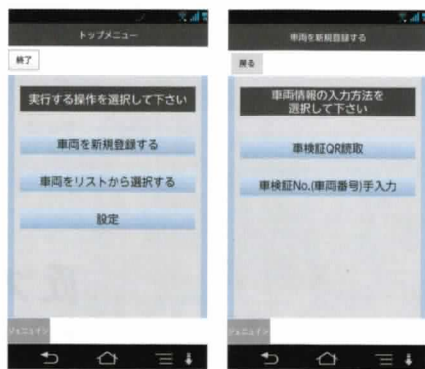
UV-400-FC (銅鉄タイプ)



UV-400-RG (インバータータイプ)

画期的な保証書管理アプリ「car info report」を使用し 最長で5年間の品質保証を受けることが可能になります

ヘッドライトコーティングシステム「ジェニューイン」には、施工した車両と発行した保証書を関連付けて管理する専用アプリが用意されています。アプリに施工を行なったクルマの写真や型式、走行距離、車検証に登録されている情報を記載することによって、最大5年間の保証^{※1}が受けられる保証書が発行されます。保証期間中であれば再施工が無料となるのですが、この保証書がなければ対応できません。「car info report」は、管理アプリにもなっているので施工したクルマの履歴やオーナーの情報などが瞬時に検索できるので、施工者が独自に情報を管理する手間が省けます。^{※1}弊社システム一式を使用し、作業工程を遵守したときのみ



施工した車両には保証書が発行されます→



HYC3000の特性

●液体特性

外觀	淡黄色透明
比重 [25℃]	0.9
粘度 [mPa・s] [25℃]	16.4
動粘度 [cSt] [25℃]	18.2
有効成分 [%]	50
溶剤 [%]	1-メトキシ-2-プロパノール 7% イソブタノール 43%

●被膜特性

テーバー摩耗試験 Δヘーズ (※2)	<16%
鉛筆硬度 (※3)	F (以上)
密着性 (※4) 初期値	25/25
密着性 (※4) 15分煮沸 (24H後測定)	25/25

【※2】ASTM D1003 基材:レキサン (SABIC社)

塗布膜厚: 8~12 [μm] CS10F摩耗輪・荷重: 500g・500サイクル

【※3】JIS K5600-5-4 (荷重 750g) 【※4】JIS K5600-5-6

●危険有害成分

組成、成分情報 (MSDSより抜粋)

化学名	CAS登録番号	化審法	濃度 [%]
イソブタノール	78-83-1	(2) -3049	40 - 50
多官能アクリレート	非開示	非開示	10 - 20
プロピレングリコールモノメチルエーテル	107-98-2	(2) -404	1 - 10
ニアクリル酸ヘキサメチレン	13048-33-4	(2) -1007	3.9
シリカ	非開示	非開示	1 - 10

●労働安全衛生法

化学名	政令番号
ブタノール	477
プロピレングリコールモノメチルエーテル	496
シリカ	312

●特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR法)

化学名	クラス	番号	年間排出量	濃度限界	濃度
ニアクリル酸ヘキサメチレン	1	306	1,000 [kg]		3.9 [%]

当商品はPRTR法届出に關して、年間取引量が事業所単位で1,000[kg]未満の場合 (50g/本が約51万本分) には排出量・移動量の届出は必要ありません。(推計の対象となるため、届出の対象外になります。)



紫外線 硬化装置 (UV照射機) の特性

型式	UV-400-FC	UV-400-RG	型式	UV-400-FC	UV-400-RG
システム構成	電源別装置	電源別装置	電源コード	1.5m	1.5m
入力電源	AC100V 50/60Hz	AC100V 50/60Hz	接続ケーブル	3m	3m
1次電流	4.6A	7.0A	照射機重量	1Kg	1Kg
ランプの種類	高圧水銀ランプ	高圧水銀ランプ	電源重量	11Kg	2Kg
ランプの出力	400W	400W	電源投入後		
発光長	50mm	50mm	UV100%照射までの	5分	1分
有効照射幅	100mm (均整度80%)	100mm (均整度80%)	時間 (起動時間)		
反射板	アルミミラー集光型	アルミミラー集光型			

<UV-400-FC (鋼鉄タイプ) のメリット・デメリット> 起動時間が長く、電源部重量が重いので、不便があるが、価格が安いので、施工台数の少ない店舗向け

<UV-400-RG (インバータータイプ) のメリット・デメリット> 起動時間が早く、電源部重量も軽いので移動がしやすく、施工台数の多い店舗向け

HYC3000の施工に必要な機材

	研磨工程	塗装工程
1 中性洗剤・シリコンオフ等の脱脂剤 (注意: 樹脂に影響を与えないもの) (推奨: 【アルコール系】: エタノール、IPA、ブタノールなど)	○	○
2 ウェス	○	○
3 マスキングテープ24mm、50mm幅等、ガムテープ	○	○
4 養生シート、マスキング等 (ボディへの飛散防止用)		○
5 研磨紙 360番~3000番 (360、600、800、1000、1300、1500、2000、3000) ※360~1300: φ75ポリリシャヤやφ75サンダーを使用 ※1500~: 手研ぎパッドを使用 (水研ぎ)	○	○
6 コンパウンド (目消し/肌調整・仕上げ用等)	○	○
7 ウールパフ、スポンジパフ、ウレタンパフ 等	○	○
8 φ75ポリリシャヤ、φ75サンダー (中間パッド必要)、手研ぎ用パッド等	○	○
9 低圧タイプ 重力式小型ガンスプレー 参考: 手元圧0.05~0.15 [MPa]、ノズル口径 0.6~1.0 [mm] 程度のもの		○
10 コーティング剤の過用 ろ布		○
11 パネルヒーター・赤外線ヒーター等 (固定式・ハンディタイプ) ※ハンディタイプのほうが扱いやすい		○
12 UV照射機 (HYC株式会社 セロ式)		○
13 帽子	○	○
14 軍手	○	○
15 保護メガネ	○	○
16 防塵マスク	○	○
17 耐溶剤手袋		○
18 溶接用保護メガネ (紫外線遮光用保護メガネ)		○
19 防毒マスク		○

使用上の注意

- ヘッドライトの内部の汚れやひび割れ等は修復できません。
 - 必ず取扱説明書に沿って作業を行ってください
 - 当コーティング剤の使用環境は、温度20~27℃、湿度40±10%が望ましいです。高温多湿の環境で使用した場合、表面に艶がなく、白く曇ったような状態になる可能性があります。上記以外の環境で使用なさる場合は、本説明書の「塗装編」をご参照ください
 - コーティング剤を塗布する前に、必ず新車時のヘッドライトカバーのコーティングを研磨し完全に除去してください。新車時のコーティングが残っていることにより密着性が落ち、製品寿命が半減します
 - 使用するスプレーガンは、本説明書に記載してあるガンと同等のものをご使用ください。吐出量が多いものを使用するとコーティング剤の使用量が増えます
- 参考例)
アネスト岩田製 LPH-50-102G を使用した場合
「MNH15W アルファード」のヘッドライトコーティングで
使用する量は約40~50g ※ガンの設定はメーカー推奨値にて
- 一度開封したコーティング剤は、使い切るか、使用残量は破棄してください。密着不良や塗装時に肌荒れを起こしたり、UVによる硬化が始まっている場合があります

※本カタログに記載された内容および仕様は商品改良のため、予告なく変更することがあります
※仕様変更などにより、写真や内容が一部商品と異なる場合があります
※本カタログに記載されている数値および表記は2015年1月現在のものです

Hyper Convergence



HYC株式会社
http://hyc.mitaka.tokyo.jp/

【担当者】丸藤 <連絡先> agandou@hyc.mitaka.tokyo.jp

匠プロダクツ株式会社

〒065-0024 北海道札幌市東区北24条東16丁目1番1号
第4中田ビル 401

TEL 011-214-1205 FAX 011-214-1225
URL: http://takumiproducts.co.jp